

部活動紹介

バレー部

①部員数

十二名

②活動内容

練習・試合・清掃活動

③総体の感想

私たちは、県大会出場という目標をたて試合に臨みました。インターハイでは地区大会敗退に終わりましたが、チーム一丸となつて戦うことができて良かったです。



男子テニス部

①部員数

三年八人、二年八人、一年二十人

②活動内容

基本的なことを中心に、自分達の弱いところを練習しています。

③総体の感想

団体では惜しくも県大会に出られず悔しかったですが、後輩達には自分達よりも強くなつてほしいです。



女子バスケット部

①部員数

三年生九人、二年生七人、一年生五人です。

②活動内容

私たちは、日々「声！集中！笑顔！」をモットーに、基礎を中心とした練習を頑張っています！

③総体の感想

後悔がない試合は一つもありませんが、全員の気持ちが一つになつて挑めた大会であつたと思います。



男子バスケット部

①部員数

十二人

②活動内容

初心者も多く、人数も少ないので他のチームに走り負けないよう走るなど基礎練習を中心に行っています。

③総体の感想

今年のチームは、目標である県ベスト8を達成する力はありませんでしたが、本来のプレーができず果せなかった。悔いが残っています。



弓道部

総体の感想

私は、「楽しむ」ということを一番考えて引くことができて、チームの皆に支えられた大会でした。この舞台に立てたのは一生の思い出です。（榊 ゆりか）

インターハイという憧れの舞台で弓を引くことができ、とても良い経験となりました。学んだことをこれから自分に生かしていきたいです。（興野あずさ）

インターハイという大舞台に立ち実際に引き、改めて多くの人に支えられていることが実感できました。高校生活一番の思い出で、とても良い経験でした。応援ありがとうございました。（榎村 琳）

私は今回、団体としては初めての全国大会でしたが、今までの経験を生かし、お互いに助け合って戦うことができました。一生の思い出になりました。（富岡茉莉藻）

私は、全国という舞台に立つて厳しさと楽しさを知った。チームとして皆で戦う楽しさ、それに対する全国という厚い壁。また来年も挑みたい。（小見 清花）



IH会場（鳥取県）にて

全校ボランティアデー

二年生はボランティア学習として、クラスごとに手話と点字を体験しました。

私は手話を体験しました。実際に、耳の不自由な方と手話で会話をしたり、手話で歌を歌ったりと、新しい体験がたくさんできました。基本的な手話でのあいさつも覚え、手の動きの意味も教わりました。まず、共通する手の動きに、両手の人指し指を向かい合わせで指先を曲げるという動作は、「人と人が出会っておじぎをする」というのを表現しているそうです。手話は、漢字を表すこともでき、それは「指文字」と言われるそうです。

手話学習で学んだことは他にもあります。それは、耳の不自由な方の生活の工夫や悩みです。私達は、音の世界で生きています。目覚まし時計や携帯電話での通話や家のインターホンなどが挙げられます。耳が不自由な方々は、目覚まし時計の代わりに扇風機を使ったり、通話の際にテレビ電話やFAXを用いたり、インターホンの代わりに光ランプを用いたりしているそうです。他にも耳が不自由で恐ろしい目に遭ったこともあったそうです。車に轢

かれそうになったことが何度かあるそうです。私は今回の学習を通じて、もっと手話を学び、耳の不自由な方々のために、協力したいと思いました。皆さんも、駅のホームや道端で耳の不自由な方が「助けて下さい」とサインを示していたら、積極的に助けてあげて下さい。それをするとは、あなたにとっても、大切な経験になると思います。皆さんも是非、手話を体験してみてください。



手話学習

（二年二組 沖津 蓮）

私は全校ボランティアデーで、さわの森に訪問し、アンサンブル演奏をしました。これまで、さわの森の施設内では演奏をしたことがなかったのですが、訪問しておじいさんおばあさんの方の前で演奏ができてよかったです。

私たちのグループは、「ふるさと」や「上を向いて歩こう」など親しみをもちてもらえるような曲を演奏しました。演奏前は、喜んでもらえるか少し不安でしたが、演奏が始まるとそれに合わせて歌ってくれたり、手拍子をしてくれたので、素直に嬉しかったです。

演奏後には、入居者の方とお話する時間があり、さまざまなお話を聞くことができました。また、石井先生の提案でみんなが歌を歌うことになり、たくさんの童謡を歌いました。

さわの森を訪問したことによって、入居者の方に安らぎや楽しい時間を提供できてよかったです。グループのみんなは、「おじいさん、おばあさんの方の笑顔が見られてよかった」「一緒に楽しい時間を過ごせて良い経験になった」と言っていました。

（二年一組 安藤 玲央）



「さわの森」にてアンサンブル演奏

交通安全講話

私達一年生は、ひたひたか警察交通課の川澄警部補を講師の先生として、交通安全、主に私達が良く利用する自転車を中心に学びました。

交通安全講話の中で、高校生になると被害者よりも加害者になってしまうケースが多いということをお聞きしました。私自身登校する際に自転車は使わないのですが、休みの日に自転車を活用することが多々あり、振り返ってみると、音楽を聴きながら走っていたり、人や車の通りが少ない所では友達と横一列で走ってしまったりと、意外とルールを見落としていた部分があったので、そういう大きな事故に遭ってしまいう前に十分に注意する目を持つということが改めて大切だと思いました。

また、茨城県は事故が多い県としても有名なもので、「ルールを見直す」などの小さいことでも一人一人がもっと交通事故に対して対策を練ったり目を向けることによって、事故は減っていくのではないかと思います。短い時間でしたが、とてもためになるお話をお聞きすることができて良かったです。

（二年一組 上野 未来）